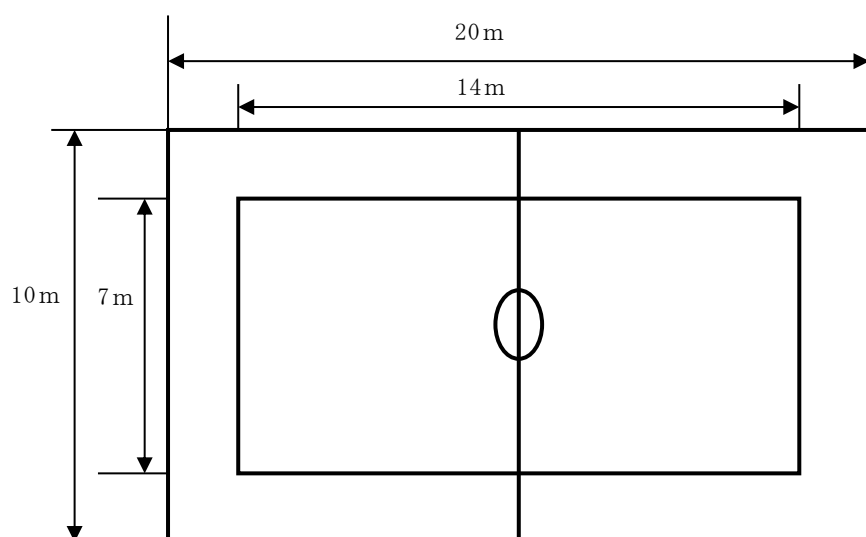


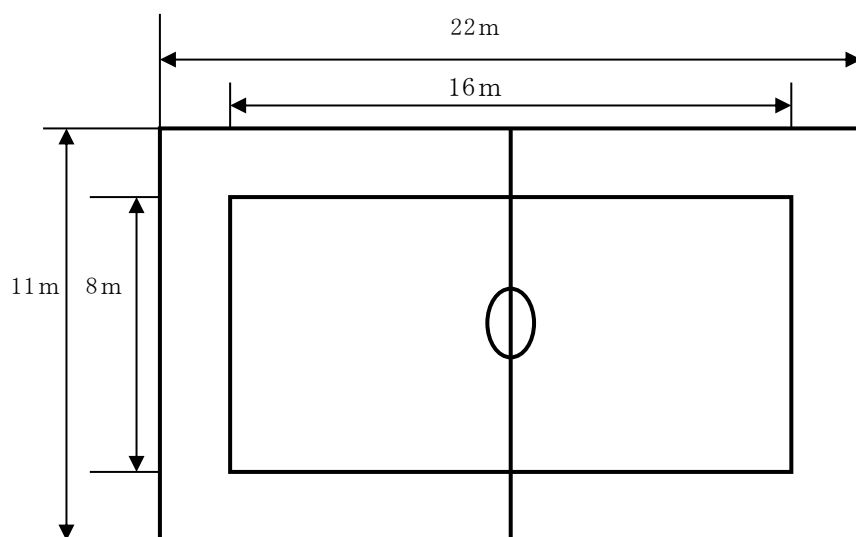
スーパードッジボール大会ルール

- ・ 1 試合 7 分間 (主審の試合開始の笛から計測)
- ・ 使用ボールは MIKASA キッズドッジボール 2 号 (型番 SDB2-YBL)
- ・ 1 チーム 9 名。最低 7 名から試合可能。補欠は 3 名まで認める。1 人が複数のチームに所属することは認めない。
- ・ 低学年は小学校 1~2 年生、中学年は小学校 3~4 年生、高学年は小学校 5~6 年生とする。
- ・ 上履きを必ず着用しなければならない。
- ・ 外野は 1 人で始める。
- ・ 最初にヒットされた選手はハチマキをとって外野に出る。また同時に、スタート時の外野選手は速やかに内野に入らなければならない。
- ・ とったハチマキは補欠の選手か監督に渡す。
- ・ 一度ヒットされた選手は内野に戻ることはできない。
- ・ ジャンプボールを行った後、審判の笛の合図で試合開始とする。
- ・ 試合が止まったときは、審判の笛の合図で試合再開とする。
- ・ タイマーのブザー音が鳴った時点で試合終了とする。(ブザービートは適用しない)
- ・ デッドライン (線から出たら相手ボール) を採用する。
- ・ 選手は内外野とも、それぞれ定められた領域内でプレイしなければならない。
- ・ 線を出て投げた場合、ボールを取って線を出た場合、相手ボールになる。(線を踏んだ場合も含む。)
- ・ 線を出て投げた場合、線を踏んで投げた場合は、相手をヒットしても無効とする。
- ・ ボールを当てられた選手が、外野に出る前に内野の中で落ちたボールに触れた場合は相手ボールとなる。
- ・ 次々とボールにヒットされた場合、最初にヒットされた人のみアウトとする。
- ・ 首から上を狙ってボールを投げてはならない。 ヒットしても(髪も含む)セーフとする。ただし、防御側が故意に頭にボールを当てて防御していると審判が判断した場合、アウトとなる。
例) 防御側が自ら前方に頭を突き出して、頭部にボールを当てることで攻撃を防ごうとした場合。
- ・ ボールを取って転んだ場合、ボールを地面につけても、手を離さなければセーフとする。
- ・ 一度当たって上がったボールを自陣内で味方が取った場合は、セーフとする。
- ・ 場外ボールは、最後に触れた選手の相手チームボールとなる。
- ・ 二本の線をまたがないパスは禁止とする。
- ・ 試合中のメンバー交代は原則認められないが、内野の選手が試合中にけがをし、プレイ続行が不可能な場合は、補欠の選手と交代する。補欠の選手がいない場合は、外野の選手が代わりに内野に入りプレイする。
- ・ 予選リーグの場合は、残りハチマキ数が同じ時は引き分けとなるが、決勝トーナメントの場合は、延長戦を行い、先に相手選手一人にボールを当てたチームを勝利とする。
- ・ 味方同士でのパス回しは 3 回までとする。4 回目以降は必ず攻撃しなければならない。4 回目以降のパスの場合、もしくは 4 投目に攻撃した球が「パスである」と審判が判断した場合は、相手ボールとなる。
- ・ 遅延行為は禁止。
- ・ **審判の判断には必ず従わなければならない。いかなる抗議、アピールも認めない。**
- ・ 予選リーグの順位決定は①総勝ち点数 (勝ち:3 点、引き分け:1 点、負け:0 点) ②得点 (内野残り人数) ③じゃんけん (監督による 1 回勝負) で行う。

【低学年・中学年】



【高学年】



※なお、上記の内容につきましては、今後変更する可能性もございますのでご了承ください。